

平成 27 年度 市民公開講座のご報告

平成 27 年 11 月 14 日に、多治見市パロー文化ホールにて、市民公開講座を開催いたしました。今回は保寿院住職である虎山義秀さんにお越しいただきました。『これからの生き方を考える、とらわれな
い生き方』をテーマに、第一部は座談会を行いました。ストレスの無い生き方について、虎山さん、当
院院長、看護師であり、がんサバイバーでもある藤本さん、元教員の横井さんにそれぞれの体験をも
とお話いただきました。第二部では虎山さんより『とらわれを捨てる』というテーマでご講演いただき
ました。ユーモアの溢れたお話で多くの方より参考になったとの感想をいただいております。

雨の降る中、329 人の方にご参加いただきました。アンケートより印象に残った内容を一部紹介させ
ていただきます。この他にも多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後の参考とさ
せていただきます。

印象に残った内容

- ・ 自分自身の幸せとまわりの方々の幸せを願い、健康で自分の心も体もコントロールでき、これからの
人生 1 日 1 日を楽しく生活していこうと思えました。良いお話を聞けて本当に良かったです。
- ・ 藤本先生の話された、「入院中は医療用麻薬が必要な患者さんでも、自宅に帰ると要らなくなる方が結
構いらっしゃる」との内容に、家族愛って大切だなと痛感しました。
- ・ “過去”と“未来”を考えると不安にとらわれる。だから“今という瞬間”を生きることを大切にする
必要があるんだなぁと感じました。
- ・ 第一部の座談会での、心の予防、思考パターンを変えるお話が参考になった。
- ・ 「ストレス解消は、自分の心の持ち方にある」ということを認識させられた貴重なお話でした。
- ・ 「怒り」とは自分の心を癒すための行為でしかない。どうなるかわからない未来、変えることのできな
い過去を思うと強い不安を感じる。
- ・ 幸せとは・・・深く考えさせられる時間を与えられました。

市民公開講座の様子



ご意見ありがとうございました。今後ももしどしご意見をお寄せ下さい。

地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院

地域医療連携センター FAX : 0572-22-7948 緩和ケア内科 Mail: kanwa@tajimi-hospital.jp